

● 「ウランバートル消防技術支援事業」の実施について

札幌市消防局では、今年度から平成 27 年度までの 3 年間、モンゴル国の首都ウランバートル市に対する消防技術支援事業を実施します。

この事業は、JICA（独立行政法人国際協力機構）の「草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）」を活用して行うもので、急速に都市化が進む中、ビル火災や大規模な災害に対応するための消防技術の近代化が緊急の課題である同市からの支援の要望を受けて実施に至ったものです。

同事業では、技術指導者の派遣や研修員の受け入れなどによる同市消防関係者への技術指導等を通じて、同市の消防技術の向上と教育体制の充実に貢献するとともに、札幌市消防職員の国際連携能力と指導技術の向上につなげていきます。

1 事業概要

(1) 事業名

ウランバートル消防技術支援事業

(The Fire and Rescue Technique Support Project for the City of Ulaanbaatar)

国の平成 24 年度補正予算により、JICA（独立行政法人国際協力機構）が行う「草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）」を活用して実施するもので、札幌市消防局から事業提案し、JICA に採択されたもの。

※ 草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）

日本の NGO、大学、地方自治体および公益法人の団体等が、これまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した途上国への協力活動を、JICA が支援し共同で実施する事業。

(2) 背景・目的

ウランバートル市では、急速に都市化が進む一方、ビル火災や大規模な災害に対応するための消防技術の近代化が緊急の課題となっている。

同市は「世界冬の都市市長会」の会員都市であり、これまでも北方圏都市として交流を重ねてきたほか、消防分野においても、昨年 6 月に札幌市で開催した「IFCAA2012 SAPPORO」や、8 月に同市で開催された「アジア国際消防防災フォーラム」での職員の交流を通じて、良好な関係を築いてきた。

そのような背景から、同市同様に寒冷地で、先進的な消防技術と装備を有している札幌市に支援の要望があり、同支援事業の実施に至ったもの。

同市消防関係者への技術指導等を通じて、同市における消防技術の向上と教育体制の充実に図るとともに、札幌市消防職員の国際連携能力と指導技術を養うことを目的としている。

(3) 実施期間

平成 25 年度～平成 27 年度までの 3 カ年

(4) 主な技術支援項目

① 高層ビル火災等に対する消火技術

- ② 大規模災害時における救助技術
- ③ 教育担当者の養成
- ④ 積雪寒冷地における消防活動対策

(5) 実施内容

- ① 同市への職員派遣（9月中旬を予定）
 - ・ 消防体制等の実情調査および事業計画説明
 - ・ 技術指導者の派遣
 - ② 札幌市での研修員受け入れ（11月の1カ月間を予定）
 - ・ 札幌市消防学校等における各種研修等
 - ・ 国内消防関係機関等の視察、研修等
- ※ 平成26・27年度は、フォローアップのための研修を実施予定。

(6) 事業費

6000万円（上限。全額JICA負担。）

2 ウランバートル市と札幌市のこれまでの交流

(1) 世界冬の都市市長会

平成24年1月に、「第15回世界冬の都市市長会議」や「冬の見本市」が同市で開催された。同見本市では、札幌市防災協会のブースが設けられ、札幌市消防局の活動や、東日本大震災への支援状況などを展示した。

(2) 「IFCAA2012 SAPPORO」

平成24年6月に札幌市で開催された同イベントにおいて、IFCAA初として実施された「国際消防救助隊合同訓練」に同市の救助隊員2人が参加し、連携した訓練を行った。

(3) 「アジア国際消防防災フォーラム」

平成24年8月に同市で開催された同フォーラムに、札幌市消防局職員2人が参加し、「寒冷地における消防資機材の運用」と「都市型捜索救助技術」について講演を行った。

3 その他

- (1) 同事業の詳細は、今後、モンゴル国消防機関とJICA、札幌市消防局との協議により決定していく。
- (2) 「JICA無償資金協力プロジェクト」により、日本からモンゴル国（ウランバートル市）に対し、消防車・はしご車等22台が本年7月中に供与される。

問い合わせ先

札幌市消防局「ウランバートル消防技術支援実行委員会」事務局 山崎

電話：215-2031（総務部施設管理課）